



JAPANESE B – HIGHER LEVEL – PAPER 1 JAPONAIS B – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 1 JAPONÉS B – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 1

Wednesday 12 November 2014 (morning) Mercredi 12 novembre 2014 (matin) Miércoles 12 de noviembre de 2014 (mañana)

1 h 30 m

## TEXT BOOKLET - INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for paper 1.
- Answer the questions in the question and answer booklet provided.

# LIVRET DE TEXTES - INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

# CUADERNO DE TEXTOS - INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

Blank page Page vierge Página en blanco

# 問題 A

# ミドリムシのスイーツ、 いかが?



ミドリムシを育てるベンチャー企業「ユー グレナ」 は7月から、 ミドリムシが入った 寒天などを売り始めました。ミドリムシはワ カメと同じ仲間で、えいようたっぷりです。 寒天1食140gにミドリムシ0.2gをねりこみ ます。

# ミドリムシうどん うち体験一人 1785 円

日本でも珍しいミドリムシ うどんを自分で作ってみま せんか。



作業は小麦粉と塩水にミド

リムシの こなを入れるところから始まりま す。そして、まぜて、こねて、ぼうで 細くのばしてから、ゆでて食べるまで、 うどんの作りかたをティーチャーズが 40分 ~ 60 分で伝授します。

おもうしこみは http://www.nakanoya.net より お願いします。

# ミドリムシ・バームクーヘン

バームクーヘンはその年輪のような すが たから、長続きをイメージさせ、結婚式 の引き出物によく使われます。

ミドリムシ・バームクーヘンは、しっか りとした食感のオーソドックスな味です。

価格 2000 円

お買い求め オンラインショップ



参考: http://mmpark.jp/gourmetmap 2014年1月11日

# 問題 B

5

# しげん 資源になるよ、 小型家電



携帯電話やデジタルカメラなど、 小型の家電製品に使われている 金属を再利用するための新しい制度が今月始まりました。 小型家電 には様々な金属が入っていて、「都市鉱山」 と よばれます。 モデ ル事業として3月から小型家電の回収を始めた神奈川県相模原市に 行ってきました。

相模原市では、 携帯電話、 デジタルカメラ、 携帯音楽プレーヤー、 電子辞書など を集めています。 市内 16 か所に回収ボックスをおいた結果、 1 か月で約800 キロの 小型家電が集まりました。 予想の5倍以上で、 市役所の人も おどろいていました。

では、 なぜ今小型家電のリサイクルが進められているのでしょ うか。小型家電には鉄のほか、 金や銀などの金属が入っています。 10 携帯電話1万台からは、50gの金が取り出せるそうです。 環境省 によると、国内で1年間にごみに出される小型家電は65万トン。 その中には約844億円分の金属が入っています。 日本は資源の多く

を輸入に たよっているので、 小型家電のリサイクルで、 資源が有効に活用されてい くことが期待されます。 15

課題もあります。 環境省が昨年行った調査では、 リサイクルシステムに参加する 予定だと答えた市区町村は約34%に止まっています。 環境省は、 回収ボックスのた めの お金などを出して、 参加する市区町村を増やしたい考えです。

参考:2013年4月18日づけ朝日小学生新聞

8814-2274

# 問題C

# パブコメで意見を伝えよう

- ① 政府が日本の将来のエネルギー政策を発表しましたが、これに大きな えいきょうをあたえたのが、国民の意見でした。その中でもパブリックコメント(パブコメ)は意見を聞く手段の一つとして注目されました。政府などが一般の人(パブリック)の意見(コメント)を募集するのがパブコメです。パブコメはだれでも自由に意見を書くことができますが、どんなものなのでしょうか。
- ② 日本は民主主義の国で、選挙で選ばれた政治家が政治をする仕組みになっています。ところが、「政治家の思いだけで政治をしていると、国民の思いとはなれてしまうことがあります。そこで、パブコメを政治に取り入れることで、より良い政治になります」と明治学院大学法学部の川上教授は説明します。
- ③ パブコメは 1999 年に始まり、2006 年の 4 月以降は原則的には必ず行うことになりました。地方の行政でも行われています。政府のウェブサイト e-Gov を見ると、国が今募集しているパブコメの一覧がずらりと並んでいます。市民の意見に、「参考にさせていただきます」など、省庁の「返事」ものっています。
- ④ 中にはパブコメを募集しても、意見がゼロの ものも あります。年間に募集されるパブコメは 800 件前後で、そのうち、意見ゼロは 4 わりほどに上ります。その理由の一つに、パブコメの多くはとても専門的な内容だから、意見が言いにくいことが挙げられます。しかし、社会の関心の高いテーマとなると、多くの意見が よせられることもあります。最近では、ペットの販売方法などについての意見は 12 万件以上よせられました。
- ⑤ 「民主主義の社会では、国民一人ひとりが政治に関心を持つことが必要です」と川上教授は話しました。

参考: 2012年9月30日づけ朝日小学生新聞

20

「それじゃ。 また、 三学期に会おう。 少女の苗字をよぶと、彼女はおどろいたように目を見開いた。 さん」

覚えてるの?」

「話しかけてくれて うれしかったよ。 では、 またね。 ごきげんよう」

さけんだ。

30

「すてき!烏丸さんって、 鳥丸さんって……!」

廊下を歩きながら紅子はぺろりと舌を出した。

しばし、 ひょろりと長身の後ろすがたを見送っていたが、 やがて一人が

きゃーっと さけぶと、 また一人が つられて

紅子は大またで歩き去って行った。

少女たちは

もう少しだけお話したい、 と思うのに、 体の横を すりぬけるように、

8814-2274

「私の名前、

「うれしいかも、 しれない……」

25

「あ……」

「だって、 ずっと僕のとなりの席にいたじゃないか。

覚えてるさ」

きずついたような、 あまえるような目つきで少女を見る。

少女は

うたれたように むねを おさえ、

紅子を見つめた。

紅ベル 子 は

らんぼうな

しぐさで立ち上がった。

# 「青年のための読書クラブ」からの一場面

# 問題 D

(設定は女子校です。 烏丸紅子はからすまべにこ わざと男の子らしく行動しています。

桜さくらば

一寸がずき

テストが 終わり講堂で賛美歌を歌い、 さぁ休みだと教室で立ち上がったとき、 紅ベル 子 の ひざから ころりと本が落ちた。

となりの 席の少女が ひろい、 細い うでを ぶるぶるとふるわせながら差し出した。

紅子は礼も言わずに、 無造作に受け取った。 礼儀を重んじる学びやでは見なれぬ、 あまりに ぶっきらぼうな態度であ

「……何?」

5

た。

少女は

くつじょくを感じ、

なみだを

うかべて紅子を見上げた。

少年のごとく低いこえで、 紅子が聞い た。 初めてクラスメー トに話しかけたのだ。 教室中の女生徒たちが かたずをのん

で二人を見まもった。 「あの、鳥丸さん、

何を読んでいるの ?

「これか?」

10

紅子は つまらなさそうに答えた。 いすに どつ かりと こしかけて、 長い足を組んで見せた。

(中略)

中略

「これはシラノ・ ド・ベルジュラック。 十七世紀が舞台の、 フランスの ぎきょくだよ。

「お、 おもしろいの?私も読んでみようかしら」

|君が?|

紅子は ばかにしたように、 皮肉な目つきをして少女を見上げた。

「君には難しいんじゃないかな」

15 「あら、 フランス語なら私も読めるわ。 だって、 中等部

「そうじゃない。 君に難しいんじゃないかと言ったのはね、 これが こどくの話だからよ。君、こどくを知っているかい ?

のときパリに留学していたんですもの」

Turn over / Tournez la page / Véase al dorso

# 問題 E

## <sup>おきなわ</sup> 沖縄で理想の先生をえんじました



はいゆう 佐々木 希さん

5 いっしょに えんじた子どもたちは みんな島の出身。 2週間のさつえい期間、ずっといっしょに過ごした。 さつえいの最中でなくても、子どもたちからは 「リサ先生」 とよばれていた。 「女の子も男の子も、 身の回りのできごとを話してくれたり、『テレビ見てるよ』 とこえを かけてくれたりして、 本当に仲良くできました。」

今まで だれかに教える立場の役を えんじたことが なかったので、 最初は不安だったそうだ。 秋田で過ごした小学生時代に教わった いい先生のイメージを頭にうかべ、少しでも それに近づこうと努力した。 「クラス一人ひとりの話を聞いてくれる先生がいました。 勉強ができないなど、 はずかしくて聞きにくい なやみも、 すすんで聞いてくれました。 大切な存在で、 今でも心に残っています。」

そのころは部屋で遊ぶよりも外で運動するのが好きだった。「子どものころは、やん 15 ちゃで落ち着きがなかったです。いつも自然に かこまれていました。今の小学生にも この映画から自然を まもる大切さを知ってほしいと願っています。」

参考: 2013 年 6 月 13 日づけ朝日小学生新聞